



「ともしび」という言葉で、あなたはどんなイメージを持たれるでしょうか。「ちいさな明かり」とか「心のともしび」というような思いが浮かび、心温まるのではないでしょうか。

長岡市では、十月から「ともしび運動」を始めるこにしました。この運動は、私たち一人ひとりが持つているやさしさ、思いやりといった一灯を持ち寄り、市民みんなが「ともに生きる社会」をつくろうというものです。そこで今月は「ともしび運動」について紹介します。

よ。

## 「ともに生きる社会」をつくる

# ともしび運動



▲かつば園を訪れる桂小学校の児童たち。ときどき数人でやってきて、お年寄りと話したり、肌着の整理などを手伝ったりしている

### ながおか福祉展'88

多くの市民からふれあいを通して理解を深めてもらおうと、昭和59年に始まったながおか福祉展。年々盛況になり、今年は障害者・ボランティアなど34団体が参画しています。また、一日ボランティア教室と高齢者総合相談コーナーが新たに加わるなど、ながおか福祉展はさらに充実しました。

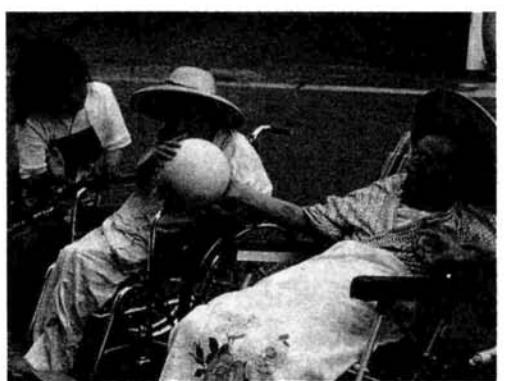
日時 10月23日(日) 午前11時～午後5時  
10月24日(月) 午前10時～午後5時  
10月25日(火) 午前10時～午後1時  
会場 厚生会館大・中ホール  
内容 ○障害者、福祉施設入所者、ボランティア団体等の作品展示  
○団体、サークルのPRコーナー  
○各種事業紹介コーナー  
○福祉機器、用具コーナー  
○一日ボランティア教室  
○高齢者総合相談コーナー  
○作品の即売コーナー

### 心身障害者福祉講演会

演題 「教えること、教えられること」  
講師 いからしの里園長 飛内 卓さん  
日時 10月24日(月) 午後1時30分～  
会場 厚生会館中ホール



▲▼高校生を対象にして夏休みに開かれたボランティアサマースクール。参加者は座談会、施設見学、食事の介助などを熱心に受講していた。ボランティア活動の輪は着実に広がっている



▲健康ウォーキングながおかで

### みんなで一声運動を

「ともしび運動」を始めたところにあたり、長岡市では十月を「福祉ふれあい月間」としました。この月間に、ながおか福祉展や車椅子ウォーキング、「一声運動」などを実施します。

さあ、あなたも今から胸の奥にあるともしびを、思いつけて外に出していくましょ。それは、あなたのできるときに、できることをすることから始まります。ボランティア活動をすることも、そのひとつです。

すぐに実行できるものでそぐに実行できるものです。一声運動にみんなで取り組みませんか。まちで困っている人を見かけたら、勇気を出して声をかけましょ。隣近所で「こんにちは」とか「お元気ですか」とあいさつをしましょ！こんなささいなことが「ともしび運動」は息の長い、心の運動です。私たち一人ひとりが一灯を持ち寄って、だれもが暮らしやすい長岡市をつくり上げたいのです。

「ともしび運動」について、みなさんのご意見をお聞かせください。

#### ■連絡先

- 福祉課、老人福祉課
- 市役所 35-1-1222
- 長岡市社会福祉協議会

33-16000

人口十八万の長岡市。お年寄りがいれば若者も子供も、障害のある人がいれば健康な人も：大勢の人が暮らしています。でも、暮らしている人々みんなの願いは一つ。「ともに生きる仲間」として、喜びや悲しみを分かち合い、ぬくもりと生きがいを見いだせる社会をつくることです。このようなかんがいを現す「ともに生きる社会」を実現できたなら、なんと素晴らしいことです。

「ともしび運動」には、こんな願いが込められています。長岡市は、これまで地域の民生委員、各種の福祉団体等と協力しながら福祉の向上に努めきました。車椅子用のトイレ、歩道の椅子なども進んでいます。でも、それだけでは「ともに生きる社会」は実現するものではありません。私たち一人ひとりが福祉について考え、助け合いと思いやりの心でまちづくりに参加してはじめます。

福社に対する理解を深め、地域社会でふれあいの輪を広げ、みんなで豊かな福祉社会をつくり上げましょう。私たちはだれしも、やさしさ、思いやりの心を持つてあります。その心のともしびを、一人から十人に、十人から百人に……次々と点じていくことができたら、きっと長岡市全体を明るく照らすことになるのではないか

「ともしび運動」の計画

「ともに生きる社会」を実現するには、市民と行政が協力して事業を進めいくのが大切なことです。市では、今年度を「ともしび運動」の呼びかけとして、将来自は、長岡市社会福祉協議会（地域の社会福祉関係者、団体で構成される民間団体）を活動の拠点として「ともしび運動」を開催する方針です。



▲第一下水処理場では、沈殿池で汚水がきれいにされていく様子を見学しました。最初の池から最後の池へ進むにしたがって澄んだ水に変わっているのが良く分かります

**市民共有の財産を大切に**

見学会の中では、下水管の寿命はどのくらいか、といった施設の維持管理についての話も出されました。現在使っている管は塩化ビニール管で半世紀はもつといわれています。

しかし、通常の維持管理では、下水管などの清掃や修理に毎年多額の経費がかかります。

**下水道を身近な施設として大切に**

また、身の回りの問題として、側溝の清掃をして、せっかく泥を取り出したのにその処分に困った、という指摘もありました。側溝の泥は、市の下水道管理課などに処理を依頼するか、

・受益者負担金、水洗化資金融資、下水道使用料……下水道工事課  
・トイレの水洗化……下水道管理課

下水道についての  
お問い合わせは

市役所 ☎ 35-1-1111

◇ ◇ ◇

少量であれば、燃えないごみとして処分することもできます。

いずれにしても、「こうした側溝の清掃の問題一つからも、市民の皆さんと行政が互いに協力し合って、公共の施設である下水道を大切にすることが、これからますます必要になってくるのではないか」といっています。

下水道は快適な生活環境をつくり、自然を保護するための基礎的な施設です。道路や公園などと同じように、市民の共有財産である下水道の今後の整備と維持管理にご理解、ご協力をお願いいたします。



# さらに普及が進む公共下水道

## これからは維持管理にも力を



▶下水道工事現場で説明を聞くモニターの皆さん(東宮内町で)

先月八日(木)、全国下水道促進デーにちなんで、市政モニターの皆さんから長岡市の下水道について見学の後、いろいろと話し合つていただきました。長岡市の公共下水道は、第一下水処理場で運転を開始してから早くも十二年がたち、市民の半分近くの人たちが使うまでになっています。今や、施設の建設だけでなく、維持管理にも力を入れる段階になつてきました。そこで、見学会での質問や意見などを含め、市民の大切な共有財産となつてている公共下水道の現状などをご紹介します。

まず、モニターの方から質問があつたのは、下水道の普及率についてでした。長岡市全体の下水道普及率(総人口に対する下水道利用人口の割合)は、今年の三月末現在で四六%、約八万三千人が利用しています。これは県内一の普及率であるとともに、全国平均(三九%)も上回っています。今や長岡市では人口の半分近く人が公共下水道を使っています。また、川袋地区では「農業集落排水事業」として整備が進んでいます。

下水道の整備は、市街地ばかりでなく、農村地域でも進められています。前川地区では「特定環境保全公共下水道」が今年三月から一部供用を開始し、横下地区でも工事が進められています。また、川袋地区では半分近く人が公共下水道を使っていることになります。

今後も更に市全体でバランスのとれた整備を進め、バランスのとれた整備を進め、六十八年度には普及率五八%程度をめざしています。

**農村地域でも下水道整備を推進**

下水道の整備は、市街地ばかりでなく、農村地域でも進められています。前川地区では「特定環境保全公共下水道」が今年三月から一部供用を開始し、横下地区でも工事が進められています。また、川袋地区では半分近く人が公共下水道を使っていることになります。

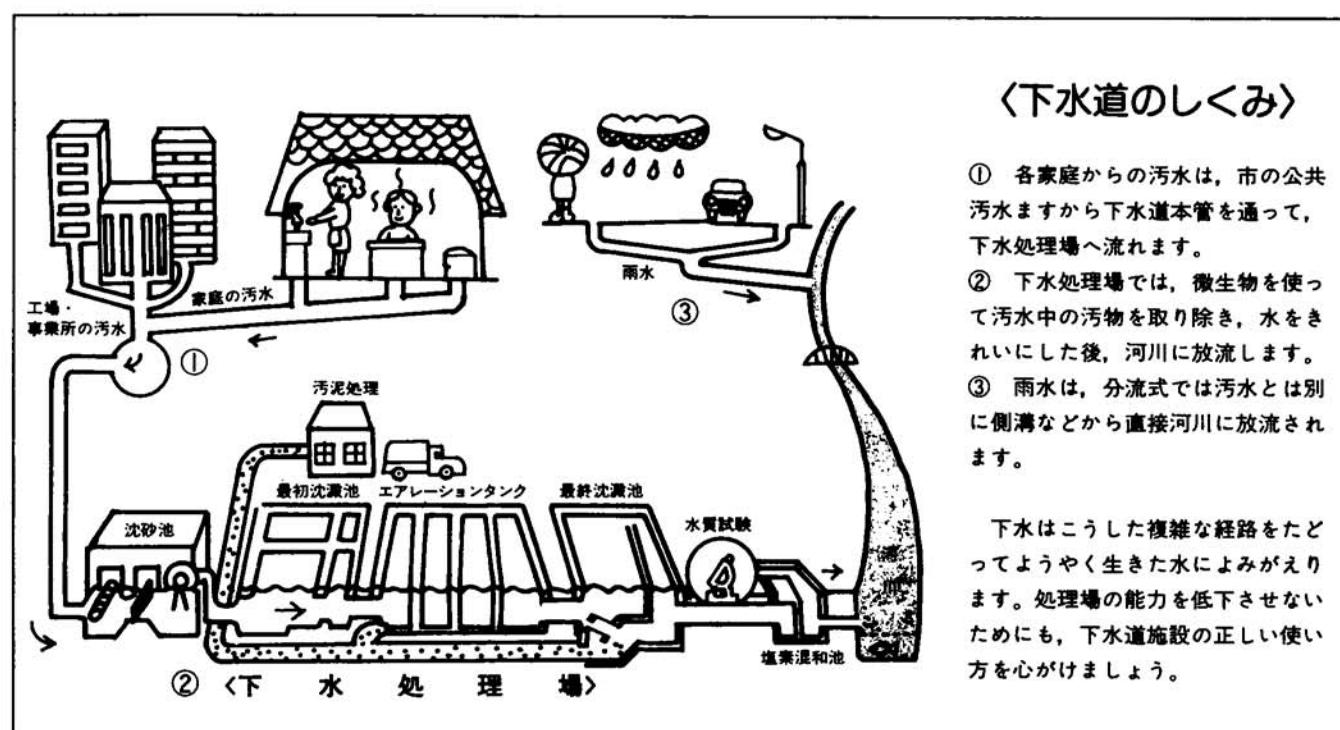
今後も更に市全体でバランスのとれた整備を進め、バランスのとれた整備を進め、六十八年度には普及率五八%程度をめざしています。

**長岡市では大正十三年、長岡駅を中心とする地域(二三八ヘクタール)に上、下水道事業の始まりです。当時としては画期的な事業で、全国的にも高く評価されています。この事業で埋設された下水管は今も使用に耐えています。**

戦後は、昭和三十五年に川東地区(市街化区域)で工事を再開、四十六年からは下水処理場の建設に着手、五十一年に処理を開始しています。

川西地区(市街化区域)では、県の流域下水道に合わせて面的な整備を進め、六十年七月に処理を開始しました。

このように、早くから下水道整備に力を入れてきたため、長岡市の下水道事業のコストは他市に比べて安い方です。



### 下水道のしくみ

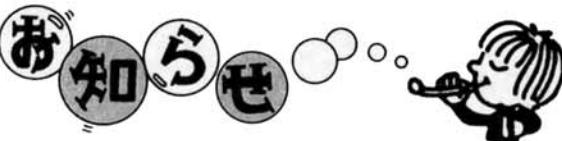
- ① 各家庭からの污水は、市の公共污水ますから下水道本管を通って、下水処理場へ流れます。
- ② 下水処理場では、微生物を使って汚水中の汚物を取り除き、水をきれいにした後、河川に放流します。
- ③ 雨水は、分流式では污水とは別に側溝などから直接河川に放流されます。

下水はこうした複雑な経路をたどってようやく生きた水によみがえります。処理場の能力を低下させないためにも、下水道施設の正しい使い方を心がけましょう。









〒940 長岡市幸町2丁目1番1号  
市役所 ☎35-1122



柿川クリーン作戦（7月16日）



## 秋のクリーン作戦

みんなで長岡を美しく！

●漁業センサスにご協力を！

※詳しくは、社会福祉協議会へ

号又は、

「施設・在宅」

「朗説」「点訳」

10月20日(木)

申込み

10月20日(木)

